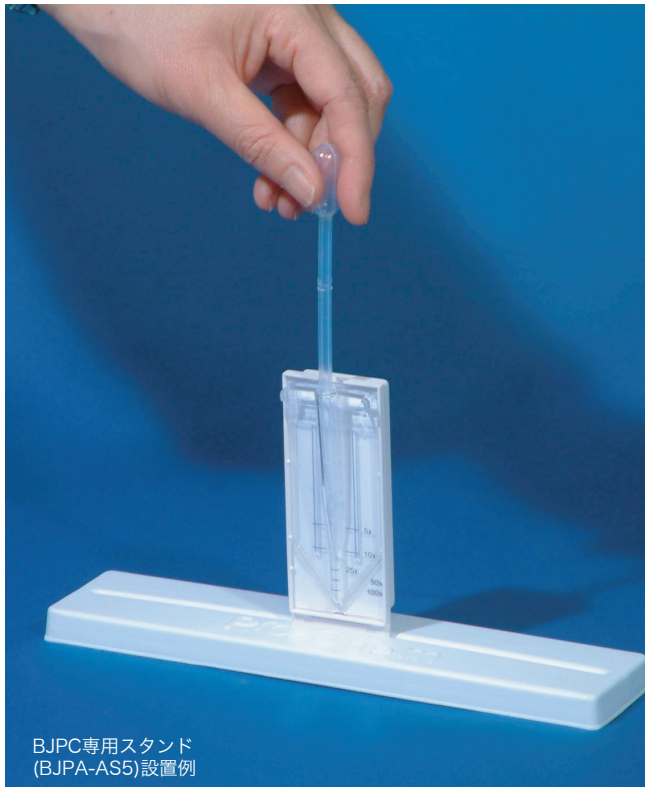




BJPC専用スタンド
(BJPA-AS5)設置例

1205(3)-ID470

特徴1

単検体処理用です

複数検体用濃縮器は使い切るまで廃棄出来ませんが、単検体用のBJPコンセントレーターは、使用後すぐに廃棄できます。

特徴2

専用回収ピペット付属

ガラス製パストツールピペットは、先端部が折れ濃縮器中に残る等、試料の回収が困難になる事がありますが、BJPコンセントレーターには専用のプラスチック製回収ピペットが付属していますので、濃縮後の試料の回収が簡便に、かつ安全に行えます。

特徴3

BJPの濃縮に最適です

MWCOが7,500のため、BJPの濃縮に最適です。

注：MWCO(Molecular Weight Cut Off)
目的分子量（ダルトン）の溶質の90%以上を保持する能力。但し同分子量でも直鎖状物質は球状物質に比較して回収率は悪くなる傾向がある。
実際には、MWCOは濃縮を行いたい目的分子量の1/3のものを選ぶと良いといわれている。

推奨用途

- ・尿中蛋白の濃縮（ベンス・ジョーンズ蛋白検出用途）
- ・蛋白分画、IFE用検体の濃縮

その他用途

- ・生体試料の単純濃縮・髄液やその他体液（母乳、唾液、精液、涙、羊水液、喀痰液等）・血清または血漿の濃縮・ELISA用で感度以下試料の濃縮・バッファー置換または脱塩操作・酵素、アイソザイムの濃縮(アルカリ性ホスファターゼ、乳酸脱水素酵素等)

製品規格

- 30個入り（30検体用、回収ピペット30本付き）
- 形状：38(W)×100(H)×24(D)mm
- フィルター材質：PES(polyether sulfone)
- 使用期限：製品外装に印刷
- 試料初期量：1～5mL

保存方法

乾燥した場所で4℃～30℃の間で保存してください。

廃棄方法

焼却または滅菌し、医療廃棄物として廃棄してください。

■商品紹介



Cat.No.BJP5/30 **BJPコンセントレーター**
(30検体用、回収用ピペット30本付)

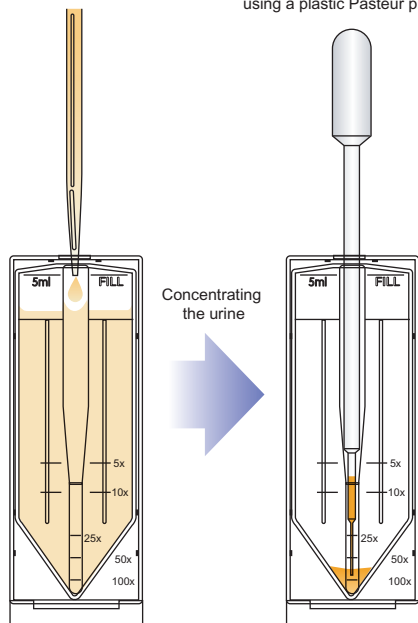
■その他関連商品

Cat.No.BJPAP250 **BJPCピペット**
(回収用ピペット250本入)

Cat.No.BJPA-AS5 **BJPC専用スタンド**
(最大5検体同時にセットできます)

Loading the urine

Recovering the concentrated urine
using a plastic Pasteur pipette



Concentrating
the urine

操作法

【必要時】沈殿物や残渣等があると濃縮効率が低下します。
濾紙（Whatmann No.1等）で、前もって試料中の不純物をろ過する事で、濃縮効率の低下を防止出来ます。

- ①専用スタンドに設置し、直立させます。
- ②濃縮したい試料の終濃度を決定します。
(蛋白分画や免疫電気泳動では通常約25mg/mL程度が適している)
- ③器具の上部にある開口部から、試料を注入します。必要濃縮率に達するまでそのまま放置します（濃縮率は下表を参照）。
溶媒と微小分子はフィルターを通過し吸収パッドに排出されます。
- ④必要濃度まで濃縮されたら、付属の回収専用ピペットにより採取し、分析用試料とします。

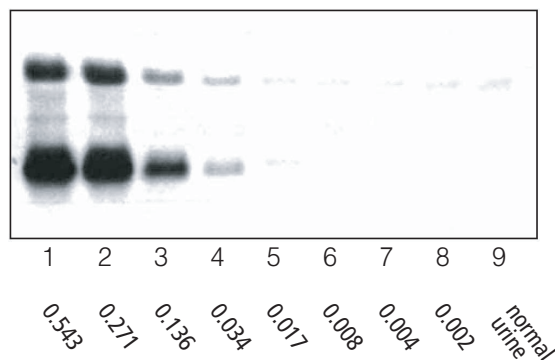
BJP-5 試料初期量	目 盛 り				
	5×	10×	25×	50×	100×
5mL	×5	×10	×25	×50	×100
4mL	×4	×8	×20	×40	×80
3mL	×3	×6	×15	×30	×60
2.5mL	×2.5	×5	×12.5	×25	×50
2mL	×2	×4	×10	×20	×40
1.5mL	×1.5	×3	×7.5	×15	×30
1mL	—	×2	×5	×10	×20

濃縮率早見表

濃縮開始時の試料量と濃縮目盛りとの関連を示しています。容器の目盛りを確認し、必要濃縮率と濃縮後必要量を計算し、表にしたがって試料量を確保し、機器に注入して濃縮を行ってください。

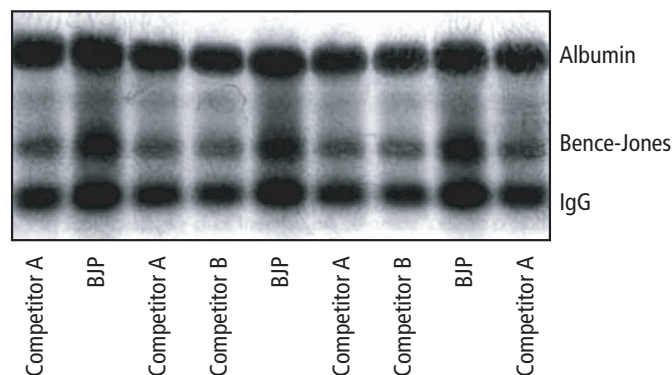
ベンス・ジョーンズ蛋白の回収率

下図は遊離L鎖BJPを含む尿を健常者の尿で段階希釈し、3 μ Lづつ塗布した泳動像です。
BJPは0.06mg/mL(6mg/dL)の時点で病的状態であり(Dammacco,1968)、BJPコンセンレーターは少なくとも0.008mg/mL以上のBJPを検出できる事を示しています。



他製品との比較

50倍濃縮して得られた5 μ Lの試料を塗布し、BJPコンセンレーターと他社製品(2製品)と比較したものです。BJPコンセンレーターは他社と比較して明らかに蛋白の回収率（特にベンスジョーンズ蛋白）が高い事を示しています。



Dammacco F, Waldenström J.
Bence Jones proteinuria in benign monoclonal gammopathies.
Incidence and characteristics.
Acta Med Scand. 1968 Nov;184(5):403-9

お問合せは

株式会社ハレコ研究所

本社 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-21-19
☎ 048-833-3208 FAX 048-833-3273

製造元：ProChem 521 Great Road Littleton, MA 01460